

今日のトピック

ムーディーズがブラジル国債を非投資適格級に格下げ

ポイント1 2段階の格下げ

大手すべてで投資適格級を失う

- 大手格付け会社ムーディーズは24日、ブラジル国債の格付けを従来のBaa3（BBB-に相当）から2段階格下げし、Ba2（BBに相当）としました。また、格付け見通しは弱含みとしました。
- ムーディーズの格下げにより、ブラジル国債は大手格付け会社3社すべてで投資適格級（BBB-、Baa3）の格付けを失うこととなりました。

ポイント2 株式市場は1.0%の下落

レアルは対米ドルで小幅高

- ムーディーズによる国債格下げの発表を受け、ブラジルレアルは下落しましたが、その後持ち直し、対米ドル、対円ともに24日の引け値は、ほぼ前日と同じ水準となりました。株式市場（ブラジルボエスパ指数）は前日比1.0%下落、10年国債利回りは0.06%上昇（価格は低下）となりました。
- ムーディーズは格下げ方向で見直しに入ったことを公表していました。市場では同社の格下げを時間の問題とらえていた向きが多かったことから、発表当日の市場下落が比較的小幅にとどまったと見られます。

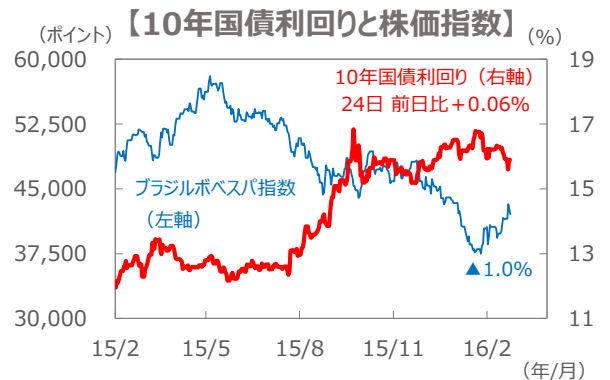
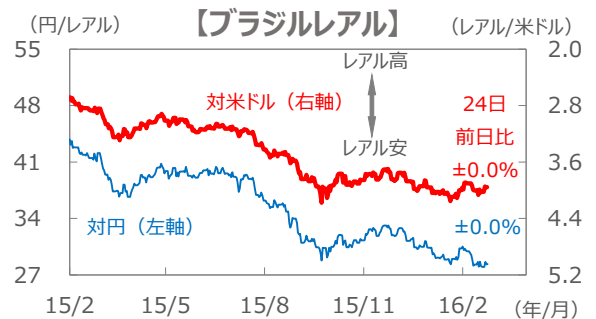
今後の展開 市場は中国景気などを注視

- ムーディーズは、格下げの理由として景気低迷の長期化（同社は16年から18年の実質GDP成長率を平均年▲0.5%と予想）や、政治の混迷などから財政状況の悪化が続く、との見方を挙げました。
- 財政・経済の構造改革が遅れており、一段の格下げリスクが残ります。ただし、投資家の格付けへの関心は薄れつつあり、ブラジル市場にとっては中国景気や資源価格の動向などが注目点になりそうです。

【ブラジル国債の格付け】

2016年2月24日現在	格付け	格付け見通し
ムーディーズ	Ba2 (BBに相当)	弱含み
S&P	BB	弱含み
フィッチ	BB+	弱含み

(注) 外貨建て長期債の格付け。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注) 2つのグラフのデータは2015年2月1日～2016年2月24日。グラフ中の変化率（10年国債利回りは変化幅）は24日の前日比。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック! 2016年 2月17日 最近の指標から見るブラジル経済（2016年2月）
2016年 1月29日 「物価高」は長期化の様相（ブラジル）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。